

商 法 (配点 40 点)

以下の【設例】を読んで後の【設問】に簡潔に解答しなさい。それぞれの設問は独立した問題として解答しなさい。

【設例】

甲株式会社（以下「甲社」という。）は、コンビニのフランチャイズ事業を行う、東証 1 部上場企業の取締役会設置・監査役会設置会社である。代表取締役会長 P、代表取締役社長 Q、代表取締役副社長 R、専務取締役 S、常務取締役 T、取締役人事部長 U、取締役経理部長 H、取締役総務部長 I が取締役会の取締役構成メンバーである。

甲社は、平成 30 年 6 月 27 日、定時株主総会を開催した。

【設問 1】 (配点 10 点)

甲社株主 X は、本件定時株主総会の決議の瑕疵を訴求したいと思っている。株主総会決議の瑕疵を争う訴訟類型について会社法はどのような類型を用意しているか、条文も引用しながら解答しなさい。

【設問 2】 (配点 15 点)

甲社株主 X は、甲社が会社提案の取締役選任議案に対して賛成票を投じた株主に対してプリペイドカード 2,000 円分を贈呈する旨の議案説明文を記載した招集通知をすべての株主に送付し、総会終了後プリペイドカードを贈呈したことに決議の瑕疵があると考えた。X は総会決議の瑕疵に関しどのような訴訟を提起できるか、その請求の当否及び裁量棄却の可否を、条文を引用しながら解答しなさい。

【設問 3】 (配点 15 点)

甲社株主 X は、甲社が取引先の乙株式会社（以下「乙社」という。）に対し、事業譲渡を行った本件株主総会決議について反対であった。その事業譲渡の金額が客観的に見て甲社にとってあまりにも不利で不当な金額であったからである。乙社の代表取締役社長は P で、P は甲社の株式を 15% 保有し、本件総会の事業譲渡議案に対して賛成票を投じ、かろうじて同議案は可決した。X は総会決議の瑕疵に関しどのような訴訟を提起できるか、その請求の当否及び裁量棄却の可否を、条文を引用しながら解答しなさい。